

平成30年産かんしょの作付面積及び収穫量

－ かんしょの収穫量は、前年産に比べ1%減少 －

【調査結果】

1 作付面積

全国の作付面積は3万5,700haで、前年産並みであった。

2 10a当たり収量

全国の10a当たり収量は2,230kgで、前年産に比べ2%下回った。

なお、10a当たり平均収量対比は97%となった。

3 収穫量

全国の収穫量は79万6,500tで、前年産に比べ1万600t（1%）減少した。

図1 かんしょの作付面積、10a当たり収量及び収穫量の推移

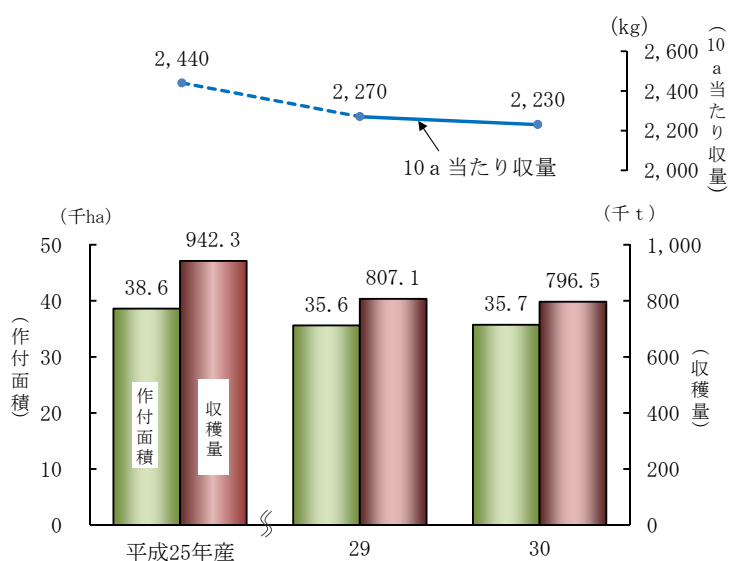
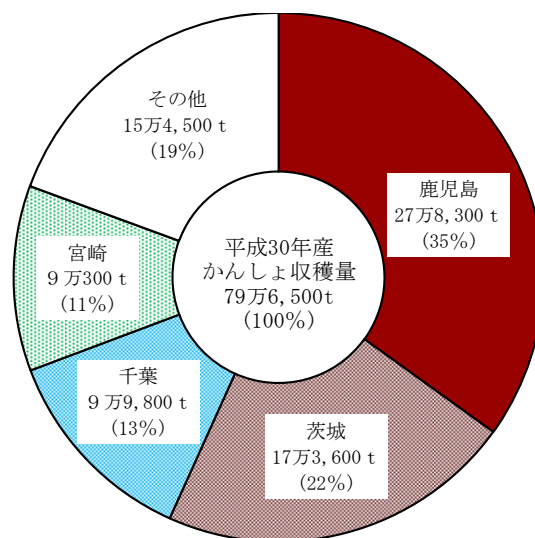


図2 平成30年産かんしょの都道府県別収穫量及び割合



本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y11 】

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ かんしょに関する生産振興に資する各種事業(強い農業づくり交付金等)の推進のための資料

◎ 累年データ

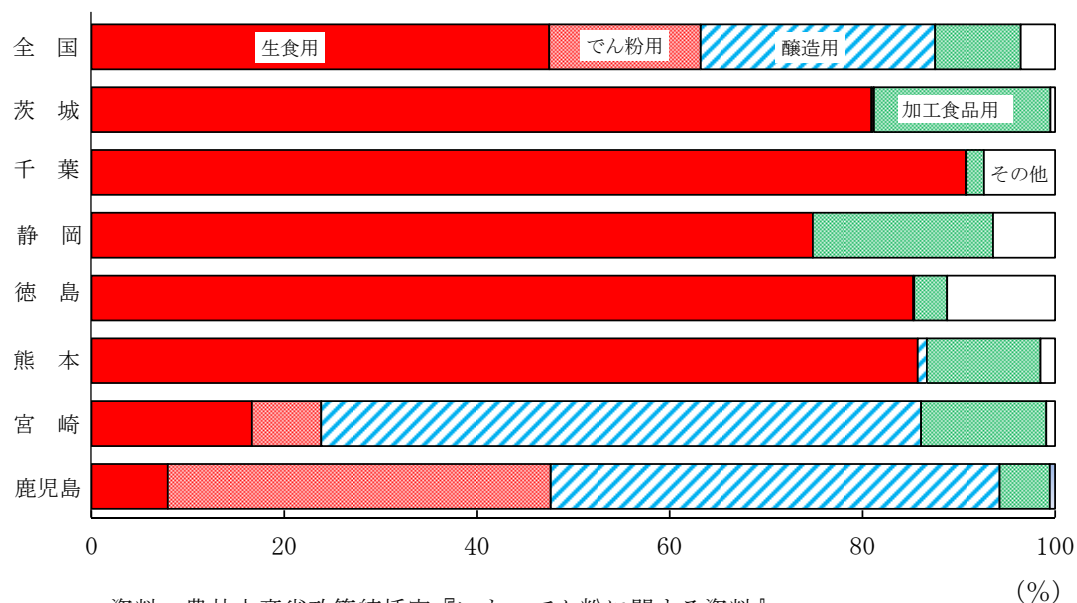
かんしょの作付面積、10a 当たり収量及び収穫量の推移

区 分	作 付 面 積	10 a 当 たり 収 量	収 穫 量
	ha	kg	t
平成21年産	40,500	2,530	1,026,000
22	39,700	2,180	863,600
23	38,900	2,280	885,900
24	38,800	2,260	875,900
25	38,600	2,440	942,300
26	38,000	2,330	886,500
27	36,600	2,220	814,200
28	36,000	2,390	860,700
29	35,600	2,270	807,100
30 (概数)	35,700	2,230	796,500

資料：農林水産省統計部『作物統計』

◎ 関連データ

かんしょの消費量の用途別割合（平成28年産）



資料：農林水産省政策統括官『いも・でん粉に関する資料』

注：1 全国の作付面積のおおむね8割を占めるまでの都道府県を掲載した。

2 その他は種子用、飼料用等である。

【統計表】

1 平成30年産かんしょの田畑別作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積											
	計	前年産との比較			田	前年産との比較			畑	前年産との比較		
		対差	対比			対差	対比			対差	対比	
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%			
全 国	35,700	100	100	2,630	△	50	98	33,000	100	100		
うち 茨 城	6,780	80	101	260	0	100	6,520	80	101			
千 葉	4,090	△	40	99	21	△	5	81	4,070	△	40	99
静 岡	540	△	42	93	37	0	100	503	△	42	92	
徳 島	1,090	△	10	99	17	0	100	1,070	△	10	99	
熊 本	971	△	29	97	75	△	2	97	896	△	29	97
宮 崎	3,610	△	80	98	555	△	10	98	3,050	△	80	97
鹿 児 島	12,100	200	102	581	△	30	95	11,500	200	102		

都道府県	10a当たり収量		収穫量				(参 考)	
	実 数	前年産との比較	実 数	前年産との比較		10a当たり平均収量対比	10a当たり平均収量	
				対差	対比			
	kg	%	t	t	%	%	kg	
全 国	2,230	98	796,500	△	10,600	99	97	2,310
うち 茨 城	2,560	98	173,600	△	1,300	99	98	2,600
千 葉	2,440	100	99,800	△	1,400	99	98	2,490
静 岡	1,830	101	9,880	△	620	94	109	1,680
徳 島	2,570	93	28,000	△	2,300	92	106	2,420
熊 本	2,270	102	22,000	△	300	99	101	2,240
宮 崎	2,500	102	90,300		300	100	100	2,510
鹿 児 島	2,300	97	278,300	△	3,700	99	92	2,490

注：1 調査は、平成29年（全国調査年）の全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については、主産県の結果を基に推計した。

2 「(参考) 10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量（原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

2 宮崎県及び鹿児島県の平成30年産でん粉原料仕向けかんしょの作付面積、10a当たり収量及び収穫量

都道府県	作付面積			10a当たり収量		収穫量		前年産との比較				
	実 数	かんしょの作付面積に占める割合	10a当たり収量	実 数	かんしょの収穫量に占める割合	作付面積		10a当たり収量	収穫量			
						対差	対比		対比	対差	対比	
	ha	%	kg	t	%	ha	%	%	t	%		
計	4,370	28	2,190	95,800	26	△	40	99	93	△	8,300	92
宮 崎	137	4	2,360	3,230	4	△	12	92	87	△	790	80
鹿 児 島	4,230	35	2,190	92,600	33	△	30	99	93	△	7,500	93

注：1 作付面積及び収穫量は、統計表1の当該県数値の内数である。

2 「かんしょの作付面積に占める割合」及び「かんしょの収穫量に占める割合」は、県別のかんしょの作付面積及び収穫量に占める、でん粉原料仕向けかんしょの割合である。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、かんしょの生産に関する実態を明らかにすることにより、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料、かんしょに関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり交付金等）の推進のための資料等とすることを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

平成 30 年産については、主産県を調査の対象としている。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査（直近では作付面積調査及び収穫量調査ともに平成 29 年産）を作付面積調査にあつては 3 年、収穫量調査にあつては 6 年ごとに実施しており、中間年にあつては、直近の全国調査年における作付面積のおおむね 80% を占めるまでの上位都道府県を調査対象（主産県）としている。

(2) 調査対象者の選定

ア 作付面積調査（全数調査）

かんしょを取り扱っている全ての農協等の関係団体とした。

イ 収穫量調査

(ア) 関係団体調査（全数調査）

かんしょを取り扱っている全ての関係団体（農協、でん粉工場等）とした。

(イ) 標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が 8 割に満たない都道府県については、2015 年農林業センサスにおいて、かんしょを販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から無作為に抽出した。

(3) 調査対象者数

ア 作付面積調査

関係団体調査		
団体数 ①	回収数 ②	回収率 ③=②/①
団体 58	団体 56	% 96.6

イ 収穫量調査

関係団体調査			標本経営体調査				
団体数 ①	有効回収数 ②	有効回収率 ③=②/①	母集団の大きさ ④	標本の大きさ ⑤	抽出率 ⑥=⑤/④	有効回収数 ⑦	有効回収率 ⑧=⑦/⑤
団体 75	団体 69	% 92.0	経営体 19,344	経営体 350	% 1.8	経営体 187	% 53.4

注：「有効回収数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回収はされたが、当年産において作付けがなかった団体及び経営体は含まれていない。

3 調査事項

- (1) 作付面積調査
田畑別の作付面積
- (2) 収穫量調査
 - ア 関係団体調査
作付面積及び集荷量
 - イ 標本経営体調査
作付面積、出荷量及び自家消費の量

4 調査期日

収穫期（主たる収穫期間は9月～11月）

5 調査方法

- (1) 作付面積調査
関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。
- (2) 収穫量調査
関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

6 集計方法

- (1) 作付面積調査
関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。
なお、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成29年産の調査結果に基づき、次により推計した。
全国値＝主産県の作付面積の合計値＋主産県以外の各都道府県（以下「非主産県」という。）の作付面積（X）の合計値
X：平成29年産における非主産県の作付面積の合計値×作付面積の変動率（Y）
Y：平成30年産における主産県の作付面積の合計値÷平成29年産における主産県の作付面積の合計値
- (2) 収穫量調査
関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10a当たり収量に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて統計調査員による巡回及び職員による情報収集の結果により補完している。
なお、本年産調査は主産県調査年に当たることから、全国値については、全国調査を行った平成29年産の調査結果に基づき、次により推計した。
全国値＝平成29年産の収穫量の全国値×主産県の比率（X）
X：平成30年産における主産県の収穫量の合計値÷平成29年産における主産県の収穫量の合計値

7 調査の精度

(1) 作付面積調査

本調査は、標本調査を実施していないため、目標精度を設定していない。

(2) 収穫量調査

本調査の10a当たり収量に係る調査結果（主産県）の実績精度（標準誤差率の推定値）は1.8%である。

注：標準誤差率（%）＝標準誤差の推定値÷推定値×100

8 用語の解説

(1) 「作付面積」とは、は種又は植付けをしてからおおむね1年以内に収穫され、複数年にわたる収穫ができない非永年性作物を作付けしている面積をいう。

(2) 「収穫量」とは、収穫し、収納（保存又は販売できる状態にして収納舎等に入れることをいう。）がされた一定の基準（品質・規格）以上のものの量をいう。

(3) 「10a当たり収量」とは、実際に収穫された10a当たりの収穫量をいう。

(4) 「10a当たり平均収量」とは、原則として直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値をいう。

なお、直近7か年のうち3か年分の10a当たり収量データが確保できない場合は、10a当たり平均収量を作成していない。

(5) 「10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量に対する10a当たり収量の比率をいう。

9 利用上の注意

(1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

(2) 表中に用いた「△」の記号は、負数又は減少したものである。

(3) この資料に記載された数値を他に転記する場合は、「平成30年産かんしょの作付面積及び収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

10 その他

この資料（平成31年2月5日公表）の数値は、概数値である。確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（作付面積は本年3月予定、収穫量は本年6月予定）するとともに、その後発刊する『平成30年耕地及び作付面積統計』及び『平成30年産作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「かんしょ」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y11 】

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>組織別から探す>大臣官房

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>組織別から探す>政策統括官

http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

- ・作付面積に関すること

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 面積統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3681

（直通）03-6744-2045

F A X： 03-5511-8771

- ・収穫量に関すること

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3682

（直通）03-3502-5687

F A X： 03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 広報普及班

電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589

（直通）03-6744-2037

F A X： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<http://www.e-stat.go.jp/>